坂出・綾歌支部　活動報告

研究主題
「自ら学び，自ら考え行動する生徒の育成」
－さまざまなメディアを活用し，
主体的に学習する生徒の育成－

1　研究主題について

「生きる力」を育むという新学習指導要領の基本理念を実現するため，思考力・判断力・表現力の育成や確かな学力を確立するために必要な時間確保などがポイントとしてあげられている。特に，多様な情報の中から必要な情報を効率的に選択し，それらをもとに自分の考えや思いを主体的に表現・発信する力の育成を図ることが学校教育に求められている。それはまさにメディア教育が担う役割であり，加速する高度情報化社会においてその役割はますます大きくなってきている。

そこで，本部会では「教えて考えさせる」学習活動を通して，「自ら学び，自ら考えることができる生徒」の育成を目指すこととした。自ら学ぶみなもとは「知的好奇心」であり，メディア教材を積極的に活用することで「知的好奇心」と学習の理解度の双方を高めようと考え，本主題を設定した。

2　研究の進め方

(1)　研究の概要

研究授業及び討議をもとに主題に迫り，各校での授業実践及び発表を行い，各校の教育実践に活かす。

(2)　研究の過程

ア　４月18日（宇多津町立宇多津中学校）
研究組織及び主題の決定，研究の進め方についての共通理解

イ　６月29日（坂出市立坂出中学校）
研究授業及び討議，各中学校での実践事例についての情報交換

ウ　10月28日（坂出市立東部中学校）
研究授業及び討議，ＩＣＴ機器活用についての講話

3　研究と実践

(1)　研究授業Ⅰ

ア　第２学年　技術・家庭科（技術分野）
題　材　情報モラル
授業者　坂出市立坂出中学校
山地　光一郎

イ　本時の目標

チェーンメール等の迷惑メールへの対処法を知り，電子メールを正しく活用できる。また個人情報の流出について注意すべきことを知る。

ウ　学習指導過程

①　携帯電話利用状況等のアンケート結果から，今の中学生の実情を知る。
②　実際のチェーンメールを見て，なぜ送信してはいけないかを考える。
③　パソコンを利用し迷惑メールの擬似体験を行う。迷惑メールの添付ファイルを開くことの危険性を知る。
④　プロフの良くない活用例を見て，危険な点を見つけて発表する。
⑤　個人情報の保護について考えを深める。

エ　討議内容

今回利用した疑似体験のサイトは，ワンクリック操作だけで事件に巻き込まれてしまう危険性を知らせるのに非常に効果があった。
疑似体験を行う前に，コンピュータの知識を持たない生徒への説明がもっとあれば，より生徒の思考が深まったと考えられる。

(2)　研究授業Ⅱ

ア　第２学年　総合的な学習の時間

単　元　職場体験学習を通して将来の生き方を考えよう。

授業者　坂出市立東部中学校
島根　雅史

イ　本時の目標

職場体験の報告を分かりやすく伝えるための情報は何かを，ＩＣＴ機器の動画や画像を見て考える。

ウ　学習指導過程

①　職場体験学習の様子を写真やＤＶＤ（ＫＢＮ「いきいきワイド」）を視聴し，本時の学習課題を知る。

②　代表生徒（放送局で職場体験を行った生徒）のプレゼンテーションを見る。その後,「さらにどんな情報を加えれば，より分かりやすい報告になるか」を班ごとに話し合い，意見をまとめて発表する。

③　話し合いで得た意見を踏まえ，２回目の発表を行う。そこで,「放送局が番組作りでどんなことに気をつけているか」についてメモをとる。

④　10minボックスを視聴させ，１分間の映像を編集するときに工夫する点を見つけ出す。

エ　討議内容

・　生徒が映っている映像や写真を多く見せることで，学習への関心を高める効果的な導入ができた。

・　代表生徒が制作したプレゼンテーションを視聴しながら学級全員で検討していくことは，自分が情報を発信する際にどのような注意が必要なのかを考える契機となった。

・　デジタルテレビとマグネットスクリーンを併用していたが，デジタルテレビへの入力信号の切換を行うことで，ＤＶＤとプレゼンテーションの両方を視聴できる。マグネットスクリーンは，黒板の板書と併用できるメリットもあるが，活動目的に合わせて適切に機器の配置を決めることが重要である。

4　今後の課題

授業の特色においてＩＣＴ機器を使うことによって，紙媒体では理解しにくい内容でも，擬似体験することで，好奇心をもって学ぼうとする生徒の姿を見ることができた。ＩＣＴ機器を活用する場合，視聴後の記憶として残りにくいので，場面を振り返って考えることは難しい。映像を漫然と見せるだけでなく，内容の核心に迫るために生徒に考えさせたい場面にすぐに戻るなど予め編集しておく工夫も必要となる。そのためにも，授業で活用するタイミングを見い出し，どんな印象で生徒に伝わったのかを確認しながらＩＣＴの活用を考える必要がある。